

からし菜コース

中級者向け

からし菜群生周辺と田園地帯を歩く

歩行距離 7.2km 歩数 約12,000歩
 歩行時間 2時間24分 消費カロリー 約370キロカロリー
 ※消費カロリーは、体重50kgの人が3km/hで歩いた場合

スタート 松伏第二中前バス停

- ① 田園風景 10分 0.5km
- ② 東陽寺 56分 2.8km
- ③ 地蔵堂の二十一仏板碑 16分 0.8km
- ④ 上赤岩香取神社 20分 1.0km
- ⑤ 源光寺 34分 1.7km
- ゴール 8分 0.4km

ゴール 松伏第二中前バス停

松伏町の南部に位置する上赤岩地区と下赤岩地区を歩くコースです。眺めのいい田園地帯、赤岩橋そばの水路沿いにある桜並木、弥生橋付近の堤防に群生するからし菜など、自然を満喫しながらの散策ができます。コース後半には、近くに大落古利根川遊歩道があり、立ち寄れば大落古利根川を眺めながらの散策もできます。また、東陽寺の庚申塔群や源光寺の帰依仏塔などの町指定文化財、香取神社を見ることができます。



① 田園風景(でんえんふうけい)

松伏第二中学校の横を過ぎると、田園風景になります。赤岩橋の先には、桜並木や屋敷林を見ることができます。



② 東陽寺(とうようじ)

東陽寺庚申塔群(町指定有形民俗文化財)
 東陽寺は、真言宗寺院を巡る関東八十八カ所霊場の第77番となっています。境内の三基の庚申塔群には「三尸(さんし)」の文字が刻まれた希少な作例のものや、初期の特徴的な庚申塔が含まれます。阿吽の金剛力士像がある山門の前では、春に桜が美しく咲きます。



③ 地蔵堂の二十一仏板碑(じぞうどうのにじゅういちぶついたび)(町指定有形文化財)

天正2年(1574)の造立で、「申待」と刻まれた民間信仰に基づく板碑です。二十一体の仏が梵字で刻まれています。越谷市を中心とした限定的な地域でのみ見られる板碑です。



④ 上赤岩香取神社(かみあかいわかとりじんじや)

通称は浅間神社で、その名の通り浅間神社を合祀しています。近くには司馬江漢によって描かれたこともある赤岩渡しがありました。



⑤ 源光寺(げんこうじ)

源光寺の帰依仏塔(町指定有形文化財)
 高僧・祐崇上人の開山と伝えられる浄土宗の寺院です。源光寺の帰依仏塔は大川戸の光厳寺にある帰依仏塔と同形のもので、正安3年(1301)の造立です。当時この一帯を所領としていた金沢北条氏の人物を追善供養するためのものと推測されています。



からし菜

アブラナ科に属し、中央アジア原産と言われています。花はアブラナに似ていて見分けることが難しいのですが、葉や茎に違いを見つけることができます。中川などの川岸に黄色く咲き乱れるからし菜の群生は、松伏町を代表する春の風物詩です。



赤岩橋
橋長 60.1m
架設年 1958年

弥生橋
橋長 99.3m
架設年 1976年